◆◆ 会員大会次第 ◆◆

開催日／令和8年10月15日（木）
会　場／富山国際会議場（3階 メインホール）

■ 会員大会 ■　　15：00～16：30

司会：鍋田　恭子

開　　会

会長挨拶	会　　長		文挾　誠一
来賓挨拶	国土交通省　北陸地方整備局長		植田　雅俊　様
	富山県知事		新田　八朗　様
	富山市長		藤井　裕久　様

基調報告　1.「電気設備工事業における適正工期確保の課題と実務対応」
・黒澤　孝志：経営企画委員会 委員
（東光電気工事(株) 執行役員 企画・管理本部長）

2.「人財不足の解消と育成方針への新しいアプローチ」
・古村　峰雄：(一社) 日本電設工業協会　北陸支部
（北陸電気工事(株) 設計積算部長）

大会決議採択　提案説明　運営委員会委員長　山本　隆洋

令和8年度会員大会決議

社会情勢の変化に機敏に対応すべく、
第四次アクションプランの取組みを加速しよう！　Jeca

■ アクションプラン骨子（5つの柱）

1. 時間外労働の上限規制適用を梃子に「働き方改革」を深化させる
2. 担い手不足の深刻化に対応した
「多様な人材確保・育成と処遇改善」方策を強化する
3. 生産性向上、省エネ・脱炭素化など
人口減少下での社会・地域のGX（グリーントランスフォーメーション）実現に
貢献する新技術の開発・普及に積極的に取り組む
4. 請負契約の見直しによる受発注者間の対等な関係の構築に向けた
条件整備と関係者・関係機関とのコミュニケーションを充実させる
5. 電設協としての会員サービスを充実させるとともに、
広報・広聴活動を強化し社会への発信力を強化する

閉　　会

■ Japan Electrical Construction Association

◇◇ 記念講演会 ◇◇

16：45～17：45
富山国際会議場
3階 『メインホール』

司会：鍋田　恭子



演　題

**『あなたにとっての
エネルギーの源は？』**

室井　滋（むろい　しげる）**氏**
（高志の国文学館館長・女優）

～ プロフィール ～

富山県出身。早稲田大学在学中に1981年映画「風の歌を聴け」でデビュー以降、映画「居酒屋ゆうれい」、「のど自慢」、「OUT」、「ヴィヨンの妻～桜桃とタンポポ～」などで多くの映画賞や芸能賞を受賞。ディズニー映画「ファインディング・ニモ」、「ファインディング・ドリー」日本語版のドリーの吹替を担当の他、ラジオ、朗読、ナレーションなど数多く出演。

女優業のほか、多ジャンルにわたって執筆を行う。1991年『むかつくぜ！』（マガジンハウス）で累計100万部のベストセラーを記録して以来、エッセイ本や絵本を多数執筆。2026年4月下旬発売の最新刊『背中合わせの恐怖』（金の星社）、近著に『やっぱり猫　それでも猫』（中央公論新社）、『ゆうべのヒミツ』（小学館）、絵本『タケシのせかい』（アリス館）、『キューちゃんの日記』（北日本新聞社）、『チビのおねがい』（教育画劇）他、絵本の翻訳本化や電子書籍化含め著書多数。また、絵本『しげちゃん』（金の星社）が光文書院の教科書『小学道徳 ゆたかな心』５年に掲載中。全国各地でしげちゃん一座絵本ライブを開催中。「現代用語の基礎知識」選T&D保険グループ新語・流行語大賞の選考委員、泉大津市オリアム随筆（エッセイ）賞審査員、「第６回Reライフ文学賞」特別選考委員などを務める。2023年４月より高志の国文学館館長に就任。

◆◆ 令和８年度 会員大会 出席予定者数 ◆◆

令和８年９月24日

区　分	大　会	講演会	懇親会	見　学　会		ゴルフ大会
				Ａコース	Ｂコース	
北 海 道	12	12	12	2	1	6
東　　北	21	21	19	6	5	6
北　　陸	60	62	56	2	1	16
関　　東	126	127	130	8	13	33
東　　海	45	43	46	4	4	13
関　　西	59	57	57	1	2	18
中　　国	32	32	32	0	0	14
四　　国	53	53	54	10	7	7
九　　州	27	27	27	1	1	4
沖　　縄	2	2	2	1	0	0
招待者等	14	14	16	0	3	1
計	451	450	451	35	37	120

見学会

・Ａコース：世界遺産五箇山の合掌造り集落と国宝瑞龍寺他をめぐる旅

・Ｂコース：立山黒部アルペンルート観光

会員ゴルフ大会

・呉羽カントリークラブ　日本海コース、立山コース

■ Japan Electrical Construction Association

ご 来 賓 名 簿

国土交通省　北陸地方整備局		
	局　長	植田　雅俊
	営繕部長	米原　　賢
経済産業省　中部近畿産業保安監督部		
	部　長	小池　勝則
	北陸産業保安監督署長	竹内　康則
富山県		
	知　事	新田　八朗
	土木部長	川上　孝裕
	土木部営繕課長	中島　道長
富山市		
	副市長	稲葉久美子
	建設部長	高尾　輝彦
	建設部営繕課長	小林江里子
	建設部営繕課設備係長	谷口　　健
北陸電力送配電株式会社		
	代表取締役社長	塚﨑　勝訓
関係団体		
	全日本電気工事業工業組合連合会　会長 北陸電気工事組合連合会　会長	米沢　　寛
	東京都電設工業企業年金基金　専務理事	畑中　和巳
	富山県電気工事工業組合　理事長	藤田　淳一

（敬称略・順不同）

令和８(2026)年度

会員大会決議

社会情勢の変化に機敏に対応すべく
第四次アクションプランの
取組みを加速しよう！

令和８年１０月１５日（木）富山市

一般社団法人 日本電設工業協会
Japan Electrical Construction Association

11-3

大会決議　２０２６年度

第四次　アクションプラン（２０２４－２０２７）　３年目の提言

社会情勢の変化に機敏に対応すべく
第四次アクションプランの
取組みを加速しよう！

アクションプラン骨子（５つの柱）

1. 時間外労働の上限規制適用を梃子に「働き方改革」を深化させる

2. 担い手不足の深刻化に対応した
「多様な人材確保・育成と処遇改善」方策を強化する

3. 生産性向上、省エネ・脱炭素化など、人口減少下での
社会・地域のＧＸ（グリーントランスフォーメーション）実現に
貢献する新技術の開発・普及に積極的に取り組む

4. 請負契約の見直しによる受発注者間の
対等な関係の構築に向けた条件整備と、
関係者・関係機関とのコミュニケーションを充実させる

5. 電設協としての会員サービスを充実させるとともに、
広報・広聴活動を強化し社会への発信力を強化する

11-4

参考資料

1　政府及び関係団体の最新の動向について

○　日本成長戦略（R8.7.21 閣議決定）　―抄―

労働市場改革

―　まず、**17の戦略分野の投資促進**[1)]**により需要の高まる工場建設等を担う人材の育成・確保を図り、建設産業の供給力を向上させる**ため、建設分野において上記取組[2)]を進めるとともに、労務費の行き渡りの徹底や入職促進、ＤＸ推進に向けた支援を実施するほか、キャリアに応じた技能の向上等につながる資格取得の支援、建設キャリアアップシステムの普及促進を図る建設事業主等への助成等の支援を行う。―

1）「官民投資ロードマップ」に基づく総合支援策の着実な実行を前提とすると、62の「主要な製品・技術等」全体で想定される官民の国内投資の規模は、現時点で2040年度までに総額370兆円である（「日本成長戦略」より）

2）スキルの標準化・可視化から、教育訓練体系の整備、教育訓練プログラムの開発・提供まで、一気通貫のリ・スキリング支援を行う（「日本成長戦略」より）

○　現場ファースト運動（経済産業省、R8.7.14）

保安や施工といった現場の業務を担う人材確保・育成や技術導入をサプライチェーン全体・建設業含む業界横断で加速させるための取組として、幅広い業種の団体・事業者や国交省等の関係省庁の参画を得て、「現場ファースト運動（Frontline First Initiative）」を展開する。



○　持続的な成長産業としての建設業の在り方に関する検討会

（国土交通省、R8.7.9.発足）

「今後の建設産業政策のあり方に関する勉強会」とりまとめを踏まえ、業界の声も入れつつ、「建設産業政策２０１７＋１０」に代わる新たなビジョンを作成する。

11-5

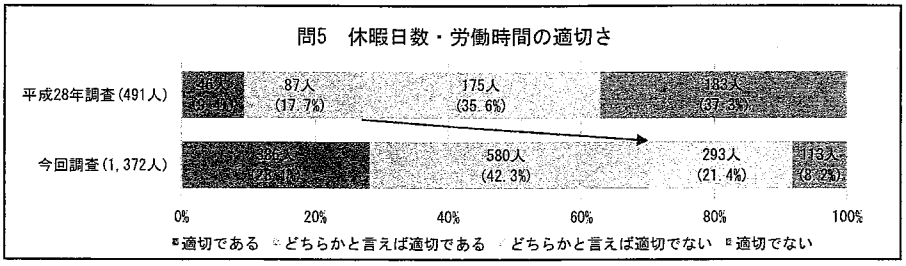
2　人材確保・育成への取組み

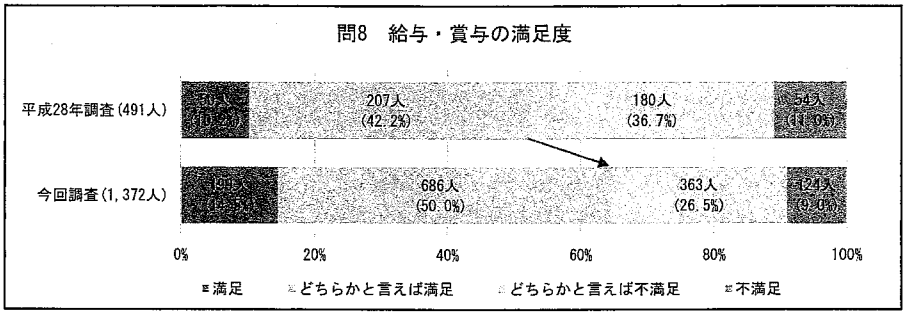
担い手確保に向け、電気設備工事業界のリブランディングをアピールする広報活動を進めている。

○ ３Ｋから新４Ｋへ

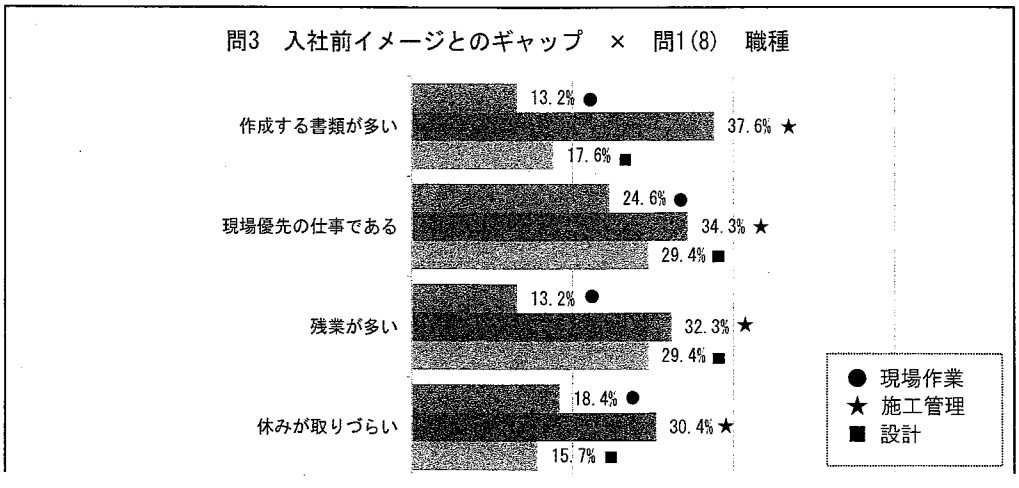
令和７年10月に、人材委員会委員企業19社の協力を得て、入社５年目までの若手技術者1,372名に対して実施した就労意識調査によると、10年前の調査と比較して、「休暇」「給与」に対して「適切」「どちらかと言えば適切」と感じる対象者の割合を示す数字が上昇している。

会員企業の取り組みの成果が表れた数値であり、この変化を広く周知し、人材の確保に取り組む。





しかしながら同調査において、「書類の多さ、現場優先、残業、休みの取りにくさ」については、特に施工管理者が入社前のイメージに対してギャップを感じる割合が高く、施工管理者の負担軽減のため、更にＤＸを活用した現場支援（バックオフィス）を進める必要がある。



11-6

○ AI に代替されにくい業種

「将来 AI に仕事を奪われるのではないか」という、学生が就職活動の際に抱く懸念に対して、電気設備工事業界、特に技術職・技能職は「AI の機能が向上しても、AI に指示を出し扱うのは人間」であり、AI に代替されにくい業種であることを、電気設備業界プロモーションコーナー、出前授業等で伝えていく。

5. 電気設備技術の仕事はＡＩに代替されにくい仕事。ますます面白く,やりがいが高くなる。35

◎電気設備技術の仕事は、社会を支える"リアルな技術。
しかも、GXとＡＩ･DXで技術はどんどん進化する。
何よりも、"一品一様"の現場での判断やマニュアル化しにくい現場作業、データの解釈など、
ＡＩでは代替できない領域が残る仕事。だから、ますます面白く、やりがいが高くなっていく。

(1)AIに代替されにくい"現場×デジタル×責任"の仕事

◎米国で見直される"電気設備の仕事"(ミリオン･ダラー･トレーズ)

～「ＡＩはソフトのコードは書けるが、配線も壊れたスイッチも直せない」

(例) シリコンバレー･テック企業のソフトエンジニア　　：年収が＄１９万～４０万+
米国電気労働組合サンノゼ支部所属の熟練内線電工：年収が＄２７万～４０万+

※令和 8 年 5 月　明治大学理工学部電子生命学科への出前授業資料より抜粋

○ 業界の魅力を伝えるコンテンツ制作

前述の若手技術者への就労意識調査の結果から、入社の決め手に「やりがい」や「自身の成長」を挙げた対象者は、仕事への満足度が高いことが分かった。

「社会を支えるエッセンシャルワーカー」としてのやりがいを表現するアニメ動画を制作し（令和 8 年 10 月完成予定）、YouTube チャンネルへの掲載などを通して紹介していく。

JECA 日本電設工業協会
公式 YouTube チャンネルはこちら⇒
今後内容を充実していきます！

○ 小学生に、電気設備への興味・関心を持たせるための活動

第四次アクションプラン期間中に実施するべく、検討を進める。

11-7

3　育成就労・特定技能制度への取組み

外国人材の受入れ拡大と育成就労制度への参加に向け、受入体制の整備、制度周知、人材育成支援を進めている。

○ 受入体制の整備

・準会員制度を創設し、受入対象を拡大
（令和 7 年 11 月 1 日施行／令和 8 年 9 月現在　5 社）

・会員企業を対象に、外国人材の受入状況や研修ニーズ等に関するアンケートを実施し、業界ニーズの把握に努めている

○ 会員証明書の発行

建設分野で特定技能外国人を受け入れる際に必要となる「建設特定技能受入計画」の認定申請をするため、会員企業へ「会員証明書」を発行している。

・職種「電気工事」を対象に会員証明書を発行

・発行実績／令和 8 年 7 月現在：20 社（63 名分）

○ 制度説明会・セミナーの開催

育成就労制度および特定技能制度の理解促進と円滑な受入れを支援するため、会員企業向けの説明会・セミナーを開催している。

■主な実施内容

・外国人材受入れに関する制度説明

・育成就労制度への移行に関する情報提供

・受入れ手続きや運用に関する支援

■開催実績

・令和 8 年 5 月：JAC、JITCO による制度説明会を開催

・令和 8 年 9 月：監理支援機関（3 団体）による育成就労制度説明会を開催

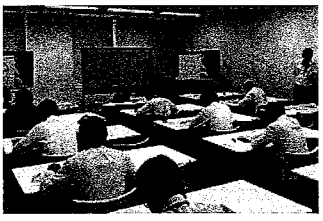
○ 外国人材の育成支援

受入れ後のキャリア形成と技能向上を支援するため、会員企業で特定技能 1 号外国人材を対象とした講習を実施。

■特定技能 2 号試験対策講習（令和 8 年 6 月）

・特定技能 1 号外国人材を対象に、特定技能 2 号資格取得に向けた学習を支援





11-8

■育成就労制度における育成イメージ（建設分野ライフライン・設備区分）

育成就労では、電気工事の基礎技能を現場で習得しながら、第二種電気工事士の取得を目指す。接地工事や配管・配線工事等の補助作業を経験し、特定技能１号への移行につなげる。

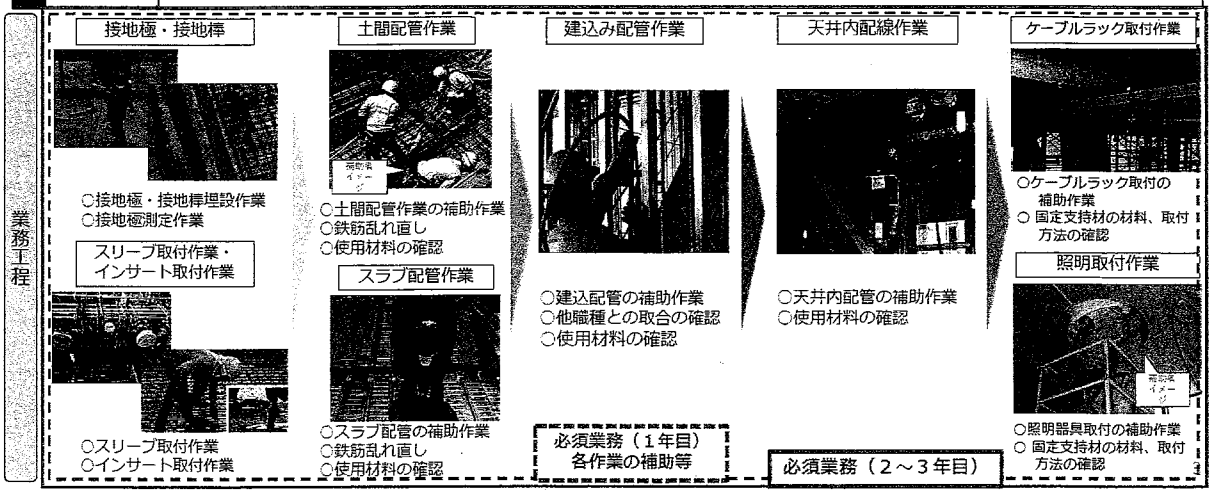
特定技能１号の技能水準（相当程度の知識又は経験を必要とする技能）	「接地極・接地棒」、「スリーブ取付・インサート取付作業」、「土間・スラブ配管の補助作業」、「建込み配管の補助作業」、「天井内配線の補助作業」、「ケーブルラック取付の補助作業」及び「照明取付の補助作業」に従事できる

専門級の試験に合格

育成イメージ	第二種電気工事士取得への育成及び、技能実習１号移行対象職種への育成・評価

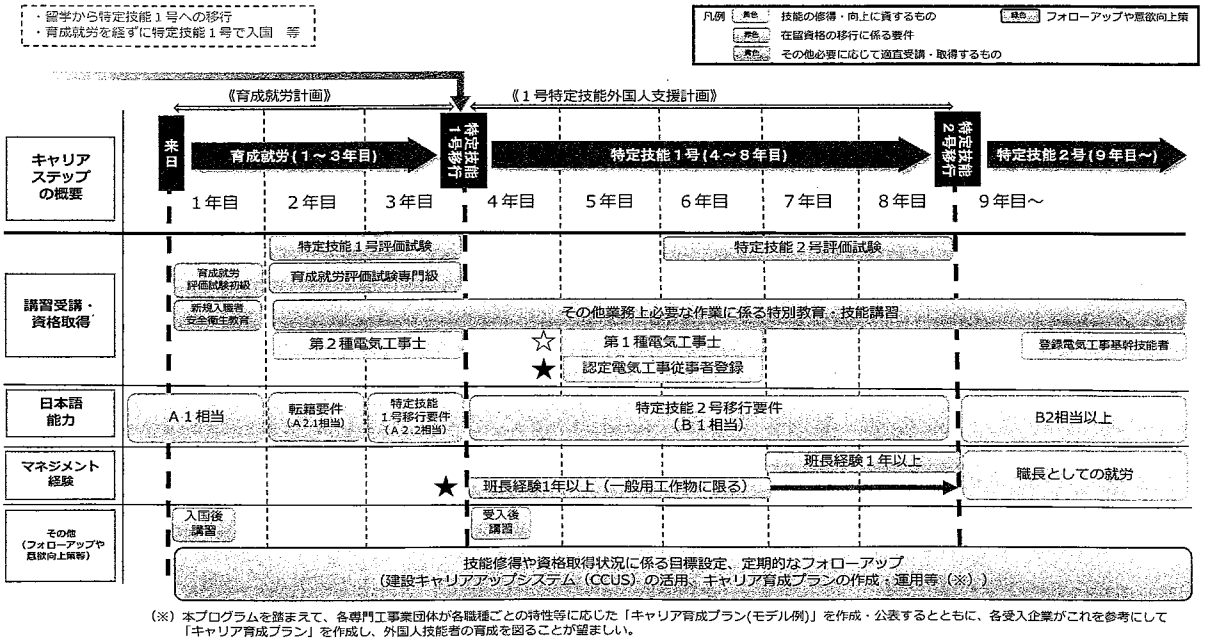
【電気設備施工】

２～３年目	【2年目】1年目の作業に加えて、現場の巡回、状況報告、是正や危険作業の注意と対策が理解できる。他職種との作業の関わりの理解を深め、電気工事施工の作業手順を理解する。 【3年目】電気工事施工の作業内容や材料を理解し、指示のもと自ら簡単な作業ができる。第二種電気工事士の作業を指導員のもと補助として作業できる。
１年目	電気工事の仕事や他職種との関わりの理解、現場の危険箇所や立入禁止の意味、感電しないための理解、使用材料の名称を理解し使用方法の理解。電線、配管ボックスの名称及び種類や使用方法の理解ができるようになる。



■外国人技能者　中長期的なキャリアパス（育成・キャリア形成プログラム）

育成就労から特定技能２号まで、段階的な技能向上とキャリア形成を目指す制度である。日本語能力、資格取得、実務経験を積みながら長期就労につなげる仕組みとなっている。



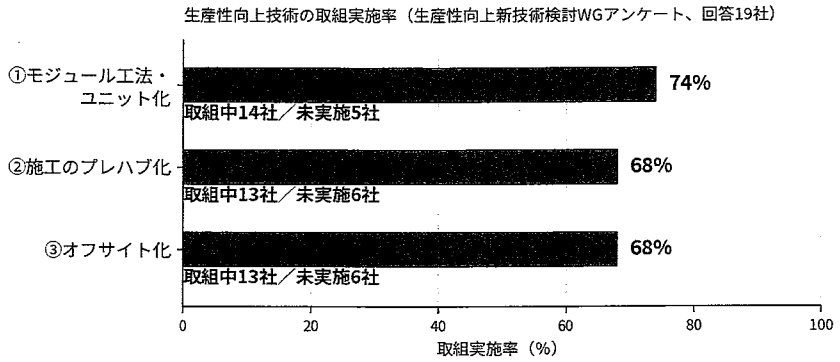
（※）本プログラムを踏まえて、各専門工事業団体が各職種ごとの特性等に応じた「キャリア育成プラン(モデル例)」を作成・公表するとともに、各受入企業がこれを参考にして「キャリア育成プラン」を作成し、外国人技能者の育成を図ることが望ましい。

11-9

4　ＤＸの推進を中心とする生産性向上・技術力向上について

○モジュール工法・施工のプレハブ化、オフサイト化の推進

モジュール工法、施工のプレハブ化・オフサイト化等による現場施工の合理化を推進。生産性向上新技術検討ＷＧが技術・安全委員会構成会社を対象に実施したアンケートでは、回答19社の結果として、下表のとおり取組状況を把握した。



区分	主な取組内容
モジュール工法・ユニット化	分電盤・照明器具・空調設備等を工場で事前ユニット化し、現場はコネクタ接続で簡易施工、高所作業不要・意匠性向上。
施工のプレハブ化	幹線分岐部・金属電線管・発電機燃料配管等を工場加工し、誤接続防止、加工精度向上、高所・狭所作業を削減。
オフサイト化	図面作成、書類整理、安全書類登録等をバックオフィス化し、現場滞在時間・書類業務を圧縮。
その他	施工管理アプリ、ウェアラブルカメラ、自動議事録・自動墨出し等を活用。

出典：生産性向上新技術検討ＷＧ「生産性向上技術に関する導入状況アンケートの調査結果」
（技術・安全委員会構成会社を対象に実施、R8.1月現在）

○ＢＩＭの推進

国土交通省「建築ＢＩＭ推進会議」は、令和8年3月に「建築分野におけるＢＩＭの標準ワークフローとその活用方策に関するガイドライン（第3版）」を策定。ＩＳＯ19650との整合、ＢＩＭ職能（マネージャー・コーディネーター・モデラー）の定義、共通データ環境（ＣＤＥ）の活用等を拡充した。これを踏まえ、技術・安全委員会 ＢＩＭ導入活用検討ＷＧのもとで、電気設備分野の標準ワークフロー確立に向けて3分科会*を新設して検討を進める。

＊業務プロセス分科会、施工品質の向上分科会、人材育成分科会

≪今後のスケジュール≫

令和 8年3月　　ガイドライン第3版　公表
令和 8年4月　　建築確認申請においてＢＩＭ図面審査　開始
令和11年度～　　ＢＩＭデータ審査　開始予定

11-10

5　適正な工期の確保、入札契約の改善等

○適正な工期の推進

2025 年 12 月に完全施行となった第三次担い手 3 法により、建設業法における請負契約制度において、「協議円滑化ルール」、「著しく短い工期の禁止」など新たな規律が導入された。これを業界にとって構造転換の契機と捉え、電気設備工事の実態や課題を踏まえ「建設工事における適正な工期確保に向けた対応指針―電気設備工事―」を 16 年ぶりに改訂した。今後は本方針を業界標準とすべく活動していく。

○設備設計図の不備の解消に向けて

適正な工期を確保するためには、建築設計事務所が作成する設備設計図の不備を解消することが不可欠となる。その前提として、設備技術者の不足状況を解消し安定的な確保を図っていくことが必要である。また、建築設備関連のコンサルティング業務を行う事務所に関する公的な制度がなく、発注者は専門性の高い業務を適切に実施するために依頼先選定の判断のよりどころが必要である。このため、建築設備六団体*によって以下の要望活動を行う。

■先の通常国会で成立した建築士法改正を踏まえ、建築設備士の資格取得を促進するための建築設備士試験の受験資格の緩和

■専門的知識を有する建築設備士を置くなど一定の技術水準と信頼性を確保するための要件を定めて、国への登録を可能とするように、「建築設備コンサルタント事務所の登録制度（仮称）」の創設

＊（公社）空気調和・衛生工学会、（一社）建築設備技術者協会、（一社）電気設備学会、
（一社）日本空調衛生工事業協会、（一社）日本設備設計事務所協会連合会、（一社） 日本電設工業協会

○価格転嫁の円滑化

■「おそれ情報」と、当該事象の状況把握のために必要な情報を、発注者に円滑に通知できるよう「(一社）日本電設工業協会様式　通知書」を協会ＨＰに掲載した。

■労務費の基準（電工）の説明のための YouTube 動画を会員ＨＰに掲載中。

○働き方改革、分離発注等の促進に向けて

発注機関等へ「４週８閉所」の実施および分離発注促進などについての要請活動を継続実施する。